

改選後 新議会始まる！



第35期議員

5月

臨時会

(5月28日)

正・副議長などの
各役職を選出しました

詳細は2ページ

市長提出の議案2件、
報告3件を審議しました

主な議案は3ページ

審議結果は11ページ

6月 定例会

(6月24日～7月11日)

市長提出の議案7件、
報告13件を審議しました

主な議案は3ページ

審議結果は11ページ

請願2件を審議しました

審議結果は11ページ

議員26人が一般質問を
行いました

詳細は5～10ページ

議会の構成

◆ 堀川 秀樹 議長



堀川議長は市議当選5回で、この間、副議長、教育民生、経済企業委員会委員長のほか、監査委員などを歴任しました。

【住所】

福井市門前2丁目1213

◆ 池上 優徳 副議長



池上副議長は市議当選2回で、この間、総務、経済企業委員会副委員長のほか、予算特別委員会副委員長、決算特別委員会委員長などを歴任しました。

【住所】

福井市和布町14-32-1

(敬称略)

委員会名		委員名						◎委員長	○副委員長
常任委員会	総務	◎田中 義乃 津田 かおり	○青木 幹雄 寺島 恭也	石丸 浜夫 酒井 良樹	奥島 光晴	鈴木 正樹			
	建設	◎福野 大輔 片矢 修一	○下畑 健二 泉 和弥	加藤 貞信 岩佐 武彦	堀川 秀樹	堀江 廣海			
	教育民生	◎村田 耕一 近藤 實	○藤田 諭 榊原 光賀	皆川 信正 山田 文葉	見谷 喜代三	池上 優徳			
	経済企業	◎菅生 敬一 伊藤 洋一	○玉村 正人 八田 一以	野嶋 祐記 水島 秀晃	今村 辰和	中村 綾菜			
議会運営委員会		◎堀江 廣海 下畑 健二	○片矢 修一 村田 耕一	石丸 浜夫 田中 義乃	青木 幹雄 藤田 諭	奥島 光晴 泉 和弥			
特別委員会	観光振興・歴史文化活用対策	◎見谷 喜代三 菅生 敬一	○片矢 修一 山田 文葉	皆川 信正 岩佐 武彦	藤田 諭	泉 和弥			
		調査事項 ① 大河ドラマや朝ドラのロケツアーリズム等による観光誘客の推進 ② 連携中枢都市圏における戦略的な広域観光施策の推進 ③ 坂本龍馬とゆかりのあるまちの調査							

(敬称略)

議会選出の各役職一覧

監査委員	伊藤 洋一 水島 秀晃
福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会議員	堀川 秀樹 池上 優徳 石丸 浜夫 片矢 修一 寺島 恭也
鯖江広域衛生施設組合議会議員	藤田 諭 福野 大輔 酒井 良樹
福井県後期高齢者医療広域連合議会議員	堀川 秀樹 玉村 正人 泉 和弥
土地開発公社理事	堀川 秀樹 池上 優徳 村田 耕一 泉 和弥 伊藤 洋一
都市計画審議会委員	八田 一以 水島 秀晃
社会福祉審議会委員	田中 義乃
青少年問題協議会委員	榊原 光賀
少年愛護センター運営委員会委員	奥島 光晴 津田 かおり
社会教育委員	野嶋 祐記 奥島 光晴 岩佐 武彦
通学区域審議会委員	見谷 喜代三 菅生 敬一 山田 文葉
学校給食運営委員会委員	皆川 信正 鈴木 正樹 下畑 健二
福井競輪事業収益向上対策協議会委員	加藤 貞信 青木 幹雄 今村 辰和 堀江 廣海

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、11ページに掲載しています。

5月臨時会

人事案件

○監査委員

監査委員の欠員を補充するため、伊藤洋一氏と水島秀晃氏を選任することに同意しました。

6月定例会

令和元年度補正予算

今回の補正予算は、一般会計で10億3,485万8,000円を増額するもので、補正後の予算額は1,069億5,585万8,000円となります。

また、補正後の全会計の予算額は、2,070億7,985万8,000円となります。

○一般会計補正予算

事業実施に係るシステム改修費用や商品券販売関係費用

を増額する『プレミアム付商品券事業』、高齢者施設等の防災のための改修、倒壊の危険性のあるブロック塀等の改修、大規模停電時に安全を確保するための非常用自家発電設備の整備等に対し支援を行う『地域介護福祉空間整備等補助事業』、消費税が引き上げとなる中、所得税等において寡婦控除が適用されない未婚のひとり親に対して臨時給付金を支給する『未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金事業』、子育て世帯を応援するため、10月から実施する『幼児教育・保育の無償化』に伴う『幼児教育・保育無償化対策事業』、また十分な耐候性がない農業用パイプハウスの補強等に対し支援する『農業用ハウス強靱化緊急対策事業』、底喰川流域の河川改修・遊水地整備を行い、流域内の浸水被害を軽減する『底喰川整備

事業』などに10億3,485万8,000円を計上するものです。

条例

○福井市森林環境課与税基金条例の制定について

森林環境税及び森林環境課与税に関する法律の施行に伴い、森林の整備及び森林の整備の促進に要する経費として活用するため、福井市森林環境課与税基金を設置するものです。

○福井市市税賦課徴収条例の一部改正について

地方税法の一部改正に伴い、個人市民税における非課税措置の対象の拡大並びに軽自動車税における環境性能割の臨時的軽減措置の実施及び種別割のグリーン化特例の見直しを行うとともに、軽自動車税環境性能割の創設に伴う非課税措置の範囲の指定その他所要の規定の整備を行うものです。



○福井市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、母子生活支援施設の心理療法担当職員及び母子支援員の資格要件を変更するものです。

○福井市火災予防条例の一部改正について

工業標準化法及び住宅用防災機器の設置及び維持に関する

る条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、所要の規定の整備を行うものです。

○福井市体育施設条例の一部改正について

福井市体育施設の指定管理者による管理の枠組みを変更するとともに、美山地区及び清水地区体育施設の利用料金等及び時間区分を他の同種の体育施設に合わせるものです。

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介します。(日程順に掲載)

総務委員会

《ふくいプロモーション事業》

問 この事業は商工労働部が所管すべきものではないのか。

答 これまでは、新幹線開業を見据えたプロモーション事業を観光の推進、産業の振興、U・イーターンの促進のそ

それぞれの側面から担当部署が個々に実施していたが、今後はこれら関係部署の連携を図る司令塔としての役割を担うため、ことし4月に総合政策課内に新幹線プロモーション室を設置した。

意見 北陸新幹線開業まで4年を切った中で、新年度予算に計上されていないことから疑問を感じる。これから

教育民生委員会

開業に向けてさまざまなことに取り組んでいくための補正予算としては、事業規模が小さすぎるのではないかと。

観光振興などについて調査を行う特別委員会が今定例会で設置される予定でもあるため、そこでの議論を踏まえた上で事業を進めていったほうがよいのではないかと。

新たに設置される特別委員会で観光振興などを議論していくためには情報収集も必要である。

《日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書提出について》

意見 核兵器のない世界の実現に向けて日本が戦争被爆国として果たす役割は大きく、率先して条約に賛同して核保有国に働きかけることが重要であるため採択すべき。

唯一の被爆国だからこそ、中立の立場で調整役を務めるべきである。

条約には核保有国が賛同していないことを考えると実効性に乏しい。

《プレミアム付商品券事業》

問 商品券は全国一律で形やデザイン等が決まっているのか。

答 国の方針では地域の特色素材を取り入れて作成することが可能であると示されているため、本市においては、朝倉ゆめまるや市の特徴的な風景をデザインに取り入れ、素材は越前和紙を使用する方向で検討している。

意見 商品券を作成する事業者にとっても売り上げや利益の向上につながるなど少しでもメリットがあるよう、よく検討して進めてほしい。

《幼児教育・保育無償化対策事業》

問 一般財源で約2,800万円の歳出が計上されているが、今後さらに一般財源が拡大すると、本市の財政状況は厳しくなると考えざるを得ないのではないかと。

答 国が2分の1、県及び市が4分の1を負担すると

いう制度体系で実施しており、来年度以降も同様の事業計画となっているため、市の負担が大幅に増えるということはない。

また、本年度に限り国から交付される地方特例交付金を一般財源に充当するため、実質的な一般財源は59万4,000円である。

経済企業委員会

《福井市森林環境譲与税基本条例の制定》

問 市内には適切に管理されていない森林が約半数近くあるが、これらの整備は、どのような事業者が担い、いつごろまでに終わるのか。

答 事業主体は、福井県が公表している意欲と能力のある38の林業経営体のうち、福井市内にある14の経営体が対象となり、今後15年から20年をかけて整備していく。

要望 作業従事者の確保が課題ではないかと考えるが、森林整備は、洪水などの災害対策や獣害対策にもなり、市民の安全・安心につながって

いく。

計画の実行にあたっては、周知な準備を行い、一日も早く適切な管理が行われるよう整備していただきたい。

問 今後の森林整備の見直しはどのようなものか。

答 整備する区画数を徐々にふやしていく予定であり、本年度と来年度の進捗等を見極め、今後の計画に反映させていきたい。

意見 今後の見通しを明らかにするため、しっかりとしたプランニングが必要である。

福井市林業・水産業プランとの整合性を図りながら取り組んでいただきたい。

建設委員会

《並行在来線開業準備事業》

問 一次出資として今回、1,500万円の補正予算を計上しているが、二次出資はどれくらいあるのか。

答 二次出資の15億円のうち県の負担割合は決まっているが、市町分については、県が非沿線市町にも広く出資を求め

ることとしているため、負担割合は決まっていない。今回は準備会社を設立し、社員確保に取組むための資金として、まずは本市負担分の1,500万円を出資したい。

意見 本市負担の全体像が明らかになっていない中で、1,500万円の出資を先に認めるのはいかがなものか。

問 本市が一次出資をしないとうなるのか。

答 準備会社の設立や社員募集は厳しい状況となり、並行在来線会社における本市の果たす役割を考えると、他市町との信頼関係にも影響を与えないか懸念される。

《道路橋りょう改築事業》

問 東部1-339号線において消雪施設を整備するため、啓蒙公園の敷地内に設置する取水設備は、消雪路線からもっと近い場所に設置できないのか。

答 取水設備は制御盤などの機器を設置するため、近隣の公園や学校など、ある程度大きな面積が必要になることから、この場所を選定した。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、7月1日から3日までの3日間、26人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

(敬称略)

① 田中 義乃 (一真会) 1 県との連携強化について 2 高齢者の交通事故防止策と交通戦略について 3 日本遺産について	② 堀江 廣海 (一真会) 1 観光について 2 消防について	③ 野嶋 祐記 (志政会) 1 北陸新幹線と並行在来線について 2 中核市について
④ 酒井 良樹 (市民クラブ) 1 保育園等での感染症対策について 2 ロタウイルスワクチン接種について 3 外国人園児への対応について 4 保育補助者雇上強化事業について 5 公立保育園・認定こども園の施設及び運営の方向性について	⑤ 青木 幹雄 (政友会) 1 福井市のまちづくりについて	⑥ 菅生 敬一 (公明党) 1 SDGsの推進について 2 肺がん対策について 3 植栽管理の業務委託契約について
⑦ 泉 和弥 (一真会) 1 住みよいまちづくりについて	⑧ 加藤 貞信 (志政会) 1 公共施設の木材利用について	⑨ 片矢 修一 (市民クラブ) 1 防災・減災対策について 2 コミュニティバス「すまいる」の運賃改定について 3 平成30年度決算と財政再建計画について
⑩ 岩佐 武彦 (政友会) 1 高齢運転者対策について 2 フルマラソンの開催について 3 日本遺産認定に伴う観光について 4 大規模災害における消防応援協力体制について	⑪ 山田 文葉 (日本共産党) 1 介護労働者の処遇改善と制度拡充について 2 高齢ドライバーによる交通事故抑制のための政策について 3 障がい者に対する支援について 4 安心できる公的年金制度について	⑫ 玉村 正人 (市民クラブ) 1 福井市学校給食施設整備基本構想について 2 学校プール開放事業について 3 学校教育関係補助金の削減について 4 健康チェック測定器具の貸し出しについて
⑬ 藤田 諭 (志政会) 1 少子・高齢社会の交通事情について 2 消防団活動について 3 福井市施設マネジメントアクションプランについて	⑭ 寺島 恭也 (一真会) 1 雨水対策について 2 インバウンド政策について	⑮ 奥島 光晴 (一真会) 1 千年を超える繊維のまち福井について 2 お年寄りの公民館使用条件の緩和について 3 交通安全協会、交通安全推進協議会、交通指導員のすみ分けと今後について
⑯ 福野 大輔 (一真会) 1 防犯カメラとドライブレコーダーを活用した防犯対策について 2 創業支援について 3 防災について	⑰ 神原 光賀 (政友会) 1 第5期福井市障がい福祉計画について 2 障がい福祉サービスの就労系サービスについて 3 スマートシティへの取り組みとビッグデータの活用について	⑱ 津田 かおり (公明党) 1 就学援助費の入学前支給について 2 子どもの安全対策強化について 3 障害者手帳のカード化と重度障害者医療費の窓口無料化について
⑲ 下畑 健二 (公明党) 1 命を守る防災対策について 2 福井市ICT活用推進計画について 3 福井市施設マネジメントアクションプランについて	⑳ 村田 耕一 (市民クラブ) 1 環境に優しいまちづくりについて 2 共生社会の実現について	㉑ 皆川 信正 (一真会) 1 セーレンプラネットの現状と課題について 2 福井市地域清掃美化推進協力金について 3 空き家対策について
㉒ 今村 辰和 (一真会) 1 森林環境譲与税を活用した新たな森林経営管理について 2 119番通報について	㉓ 八田 一以 (一真会) 1 5年後の福井市について	㉔ 鈴木 正樹 (日本共産党) 1 国民健康保険の実態について 2 消費税の増税について 3 教員の多忙化問題と学校の統廃合について 4 議員控室等の喫煙について
㉕ 中村 綾菜 (無所属) 1 統一地方選挙の結果を踏まえた投票率向上への取り組みについて 2 高齢者の交通事故防止対策について 3 子どもの安全対策について 4 ひきこもり対策と社会の理解促進について 5 公共施設の再編に係る住民説明、話し合いについて	㉖ 近藤 實 (無所属) 1 ふくいオリーブ物語について 2 セーレンプラネットについて 3 ふるさと納税について 4 水道事業の業績、料金値上げについて 5 下水道事業の業績、使用料値上げについて 6 未来づくり推進局長、観光文化局長の人事異動について 7 人事行政の透明性について	

越前町の六古窯や坂井市・南越前町の北前船寄港地・船主集落などがあり、今回認定されたものを組み合わせ、観光ルートとして構築し、観光振興の活性化につなげる。

また、大手旅行会社では日本遺産を巡るツアー商品などを既に販売しているところもあり、今後の商談会や個別営業等において積極的に紹介、提案していく。

回答

嶺北にある日本遺産には、今年5月、一乗谷朝倉氏遺跡や養浩館庭園などが「400年の歴史の扉を開ける旅」石から読み解く中世・近世のまちづくり「越前・福井」として文化庁の日本遺産に認定されたが、この認定をふくい嶺北連携中枢都市圏での広域な観光振興にどのように活かしていくのか。

質問

日本遺産について



たなか よしのり

田中 義乃 議員

一真会

一般質問要旨



ほりえ ひろみ
堀江 廣海 議員
一真会

観光について

質問

地方都市の観光にとつて、テレビ、特に大河ドラマの影響は極めて大きいものがある。2020年の大河ドラマ「麒麟がくる」では、明智光秀の生涯にスポットが当たるとのことだが、一乗谷や明智神社を初めとする、本市の光秀ゆかりの地について、NHKへの売り込みをどのように行っているのか。

回答

来年の大河ドラマの主人公である明智光秀は、約10年間を福井の地で過ごしたと言われており、福井にゆかりの深い人物である。昨年6月には本市職員が県とともにNHK会長を訪ね、一乗谷朝倉氏遺跡を初めとした明智光秀ゆかりの地を大河ドラマの中でより多く取り上げるよう、強く要望した。今後も、継続的な働きかけを行っていく。



のじま ゆうき
野嶋 祐記 議員
志政会

並行在来線開業準備について

質問

並行在来線開業準備として今後の進め方はどのようになるか。また、問題や課題についてはどのように整理していくのに対応するべきと考えているのか。

回答

並行在来線準備会社の設立後、社員確保や経営計画の策定等、開業に向けた準備を進める。
また、経営安定のための基金に対する負担が大きな課題と認識しており、できるだけ基金に頼らない経営となるよう、収益向上を図ることが重要であると考えている。今後福井県並行在来線対策協議会において新たな利用者の確保や運営経費削減などの方策を検討する予定であり、本市も、市民の利便性向上につながるような利用促進策を提案していきたい。



さかい よしき
酒井 良樹 議員
市民クラブ

保育園等での感染症対策について

質問

厚生労働省が定めた保育所における感染症対策ガイドラインに基づき、医師による意見書の無料発行を行うべきと考える。また、家族が感染症を発症した場合、看護者が容易に休暇を取得できるよう、企業等へ協力要請や周知徹底すべきではないか。

回答

近年、様々な感染症が流行しているため、医師の意見書や保護者の登園届の提出の是非について、市医師会や保育園、こども園等と意見交換を行っていく。
また、本市では「はぐくむbook」や「はぐくむnet」において、看護休暇を紹介している。今後、関係部局が連携し、あらゆる機会を捉えながら、子育て世代が有給休暇を取りやすい職場環境づくりを働きかけていく。



あおき みさお
青木 幹雄 議員
政友会

福井市のまちづくりについて

質問

本市の将来を考えると、自治会や集落の機能保持や活性化、働き方の改革による企業の取り組み等が重要である。このような面において、一次産業である農林漁業等の充実が必要と考えるが、本市の考え方と取り組みは。

回答

一次産業は「食」を支えているだけでなく、国土や景観の保全、自然災害の防止、文化の伝承など多面的な機能を維持、発揮していくという役割を担っている。この産業の特殊性も踏まえ、担い手の確保や自然、食などの地域資源を生かした農村・漁村集落の維持活性化に取り組むことで、一次産業の持続的な発展を実現していく。



すごう けいいち
菅生 敬一 議員
公明党

肺がん対策について

質問

がん検診の受診率を上げるため、特定健診にすべてのがん検診をセットにして申し込みをするオプトアウト方式を導入してはどうか。また、改正健康増進法が施行され、行政機関の敷地内は禁煙となったが、市庁舎はどう対応するのか。

回答

本市における集団健診は、特定健診、肺がん及び大腸がん検診を同時に実施しており、オプトアウト方式の導入も可能な体制と考える。今後は、健診会場での受け入れ体制や受診券の変更に伴うシステム改修などの課題を整理するなど、検討していく。
また、市庁舎については7月1日から原則敷地内禁煙とし、屋内外とも禁煙となっている。このため、本館1階西側の喫煙所については閉鎖した。



いずみ かずや
泉 和弥 議員
一真会

住みよいまちづくりについて

質問

通学路沿いのブロック塀の点検は全国で進められているが、本市ではブロック塀の倒壊に対してどのような対策をとっているのか。

また、危険なブロック塀の撤去にかかる費用を補助する制度を検討し、ブロック塀の安全確認をするよう市民に啓発すべきではないか。

回答

通学路のブロック塀については、昨年8月から10月に教育委員会と建設部の職員が合同で現地調査を行い、改善が必要なものに対して、修繕や除却など改善方法についての指導、助言を行っている。

また、補助制度については、高齢者施設等への補助事業の対象として危険なブロック塀の改修を追加し、6月補正予算案に計上した。今後も引き続き、補助制度の制定について調査、検討していく。



かとう さだのぶ
加藤 貞信 議員
志政会

公共施設の木材利用について

質問

今後の公共施設建築にあたっての木材の使用方針は。

また、昨年12月定例会での私の質問に、学校規模適正化委員会が森田中学校の新設も上がっていると御答弁いただいたが、木造校舎のメリット、建設に対する課題、それらを踏まえた木造校舎の今後の取り組みは。

回答

公共施設の新築、改築等に当たっては、木造化が困難な場合を除き、積極的に木造化に努めている。

木造校舎は、豊かで快適な教育環境づくりができるが、維持管理コストの増大が課題である。学校は避難施設でもあり、高い安全性が求められるため、構造自体の木造化には慎重な判断が必要だが、床や壁などの木質化については積極的に取り組んでいく。



かたや しゅういち
片矢 修一 議員
市民クラブ

「コミュニティバスすまいる」の運賃改定について

質問

消費税率の引き上げに合わせ、運賃が100円から110円に改定されるとのことだが、据え置くべきではないか。

また、市の交通政策、福祉政策の大事なツールとして、増便や利用促進などを全庁的に検討すべきではないか。

回答

これまで、消費税分については10円未満を切り捨てとしてきたが、今回の消費税率改定では、消費税相当額が10円となることから、適正に転嫁するものである。

本年4月に実施したルート・ダイヤなどの見直しにあたり、「コミュニティバスすまいる検討会」から、全体の公共交通ネットワークの中で「すまいる」のあり方を検討するため、新たな議論の場を設けるよう提言を受けており、今後、中長期的な視点の中で検討を進めていきたい。



いわさ たけひこ
岩佐 武彦 議員
政友会

北陸新幹線福井開業に向けたフルマラソンの開催

質問

北陸新幹線福井開業に向け、県都福井市がリーダーシップを発揮し、福井県独自の特色あるフルマラソン大会を開催すべきだと考えるが所見は。

回答

フルマラソンの開催は、観光PRや生涯スポーツの推進に大きく寄与し、団体・障スポの開催で盛り上がった市民のスポーツに対する機運をさらに高めるものと考えられる。

一方、規模が大きくなることから、コース設定や交通規制、ボランティアの確保等多くの課題があるため、過去に市単独での開催を断念した経緯もある。

今後、課題を整理した上で、周辺市町及び県との連携により開催が可能であれば、北陸新幹線福井開業に向けて検討する。



やまだ ふみは
山田 文葉 議員
日本共産党

介護職の処遇改善と高齢者への配食サービス

質問

介護労働は責任が重く、重労働であるにもかかわらず賃金は低いため、介護職員の処遇改善が必要であると考えられるがどうか。

また、市内在住の全ての在宅高齢者が配食サービスを利用できるよう支援すべきと考えられるがどうか。

回答

国は、今年10月から介護労働者の新たな処遇改善加算を設けるとしている。加算により増えた報酬は事業所の裁量で配分できるため、業務内容に応じた適正な配分を行うよう指導や助言を行う。

また、配食サービスについては、食の支援が必要な方に対し、民間の配食サービス等に関する情報提供や訪問介護のヘルパーによる買い物・調理支援を行っている。

今後も高齢者支援のあり方を研究していく。



たまむら まさと
玉村 正人 議員
市民クラブ

学校教育関係補助金の削減について

質問

市小・中学校連合音楽会や市小学校連合体育大会等、市内の全小・中学校を対象とした事業において、保護者負担を求めざるを得ないほどの予算削減はすべきでないと考えているが所見は。

回答

令和元年度予算では、厳しい財政状況の中、全ての事業費について事業効果等を再度検証した結果、連合音楽会、連合体育大会についても補助金が減額となった。事業主体の校長会には、予算に応じた内容で検討いただいたが、今年度は保護者に負担をお願いすることを決定したと聞いている。他校の児童生徒と交流する連合音楽会や連合体育大会は、子どもたちにとって大きな意義のある行事であるため、来年度以降は保護者の負担なく実施できるようにする。



ふじた さとし
藤田 諭 議員
志政会

福井市施設マネジメントアクションプランについて

質問

福井市施設マネジメントアクションプラン第一期素案では、個々の施設について再編の実施時期を含めた方向性が示されたが、各地域の施設利用者にはどのように説明するのか。

また、方向性が出た後での説明会となるが、市民の意見はどのように反映されるのか。

回答

各地域への説明会は、7月のパブリックコメント実施後、8月中旬頃から地域ブロック単位で開催し、アクションプランの必要性や策定の経緯、内容等について丁寧な説明を行う。その上で、説明会でいただいた御意見も踏まえ、アクションプランを策定する。



てらしま きょうや
寺島 恭也 議員
一真会

雨水対策について

質問

馬渡川の樋門が竣工し排水しやすくなったが、排水機場が老朽化しており、樋門が閉ざされた場合には、予断を許さない状況である。排水機場の更新については、どのように考えているのか。

また、荒川についてもさらなる整備が必要と考えるが、改修を促進するため、どのように働きかけを行っているのか。

回答

馬渡川排水機場は昭和41年に県が整備してから、53年が経過し、老朽化が著しいと考えられるため、県に施設の更新を要望していく。荒川については中流域の約4kmの区間が依然として未改修であるため、毎年、重要要望などを通して、県に早期完成を求めるとともに、国土交通省、県選出国會議員に対して必要な予算の確保を要望している。



おくしま みつはる
奥島 光晴 議員
一真会

お年寄りの公民館使用条件の緩和について

質問

複数の地区のお年寄りで構成される趣味グループは、公民館の自主グループとして認定されるための条件を満たすことが難しく、公民館の利用が困難となっている。お年寄りの生きがいづくりと介護予防の見地から、公民館の使用条件の緩和が必要ではないか。

回答

自主グループの認定条件は、自主的な運営や学習成果の地域への還元などのため、原則として10人以上で、地区住民が3分の2以上であることとなっているが、多くの公民館では地区の実情に応じて、条件を緩和して認定するなど弾力的な運用を行っている。今後も高齢者の生涯学習を通じた社会参画を推進し、生きがいづくりに寄与するため、各公民館で柔軟な対応をとるよう指導していく。



ふくの だいすけ
福野 大輔 議員
一真会

防犯カメラ設置に関する補助について

質問

昨今、防犯カメラのニーズが高まっていることから、防犯カメラの設置に対する補助を希望するが、本市の所見は。

また、県は防犯カメラの設置に対する補助を検討しているようであるが、県が補助制度を新設した場合、本市も同様に補助を行うのか。

回答

防犯カメラは犯罪のない安全で住みよいまちづくりに大きな役割を果たすものと考えられる。現在、本市では商店街が魅力向上やにぎわい創出を目的に防犯カメラを設置する場合には補助制度を活用することができ。一方、自治会や団体等に対する補助制度は設けていないことから、今後、県や他市町の動向を注視しつつ、県警と連携しながら検討していく。県の補助制度が新設された際には、本市も前向きに検討していく。



さかきばら みつよし
神原 光賀 議員
政友会

障がい者支援について

質問

本市における障がい者の相談支援の中核的な役割を果たす基幹相談支援センターの機能を補完するため、障がい者虐待防止センター及び地域生活支援拠点の業務が追加された。基幹相談支援も含めた各事業の予算と地域生活支援拠点事業の実績について伺う。

回答

各事業の予算は、基幹相談支援が人件費、事務費など1,130万円、障がい者虐待防止センターが人件費、一時保護するための居室確保費用、事務費など483万4,000円、地域生活支援拠点業務が人件費、体験利用を行うための居室確保費用、事務費など804万6,000円である。

地域生活支援拠点事業では、平成29年度と平成30年度に緊急時の対応として1名ずつの居室利用があり、このうち1名は地域定着に結びついている。



つだ かおり
津田 かおり 議員
公明党

就学援助費の入学前支給について

質問

経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し支給される就学援助費は入学後に支給されているが、入学準備にはランドセル、制服、体操服の購入など多くの費用がかかるため、新入学児童生徒学用品費については、入学前支給を実施できないか。

回答

中学校については入学前支給を実施しているが、小学校については、現在未実施である。小学校入学前にも多くの費用がかかり、保護者の負担が大きいことは認識しており、これまで保護者への周知や申請書の配布方法、受給資格の判定や支払い、返戻等について、既に実施している自治体の対応等を調査研究してきた。これを受け、来年度入学の新小学校1年生から入学前支給が実施できるよう、現在準備を進めている。



しもばた けんじ
下畑 健二 議員
公明党

命を守る防災対策について

質問

地震対策の大きなポイントが建物が高さで倒壊しない耐震性があるかどうかである。福井市建築物耐震改修促進計画では、来年度目標を耐震化率90%に設定しているが、現状をどのように考えているのか。

回答

平成30年度末において耐震性を有する住宅数は約8万800棟と推計され、耐震化率は84.2%となっている。

近年は耐震改修等に対する補助件数が低迷しており、思ったように耐震化が進まない状況にある。

そのため、戸別訪問の強化や過去に耐震診断を受けた方へのPR、自治会等に対する出前講座の開催など、木造住宅の所有者と直接対話する機会を増やし、耐震化の必要性や補助制度の周知を積極的に行うことで木造住宅の耐震化の促進に努めていく。



むらた こういち
村田 耕一 議員
市民クラブ

共生社会の実現について

質問

障がい者への差別的解消に向けて今後どのように取り組むのか。

回答

職員が障がい者理由とする差別に適切に対応するため、不当な差別的取扱や合理的配慮の具体例を記載した職員対応要領を作成し、所属長及び新規採用職員研修会等で説明し周知に努めている。さらに、障がいのある人や学識経験者などで構成する福井市障がい者差別解消支援地域協議会を設置し、地域における障がい者差別に関する相談事例を共有するとともに、差別解消に向けた取り組みや相談窓口の案内、啓発ポスターの作成等の効果的な周知方法などについて協議している。

今後も、障がいへの理解促進を図る施策を推進し、共生する社会の実現に向け、市民や事業者と協力して取り組んでいく。



みながわ のぶまさ
皆川 信正 議員
一真会

セーレンプラネットの現状と課題について

質問

JR福井駅西口にあるセーレンプラネットはオープンから赤字が続ぎ、ドームシアターの入場者も少ない。入場者、入場料金収入等の現状と集客増を図る対策について、年間パスポートの拡大も含め、どう取り組むのか。

回答

平成30年度の入場者数は10万7,100人、入場料金の収入額は9339万2,000円で1,651万6,000円の赤字である。今後は、恐竜をテーマにした特別展や新番組の投影を行うほか、パブリックビューイングやeスポーツなど誘客につながるものに積極的にドームシアターを会場として提供する。また、パスポート購入者のうち希望者には企画展やドームシアターの番組等の情報を知らせるメールマガジンサービスを開始している。引き続き口コミやSNS等での情報発信をしていただけるよう誘客に向けて取り組んでいく。



いまむら しんかず
今村 辰和 議員
一真会

森林環境譲与税を活用した森林経営管理について

質問

森林環境譲与税を活用し、適切な森林整備を行っていく必要があるが、適切に管理されていない森林はどれくらいあるのか。

また、そのような森林に対し、本市は今後どのように管理を行っていくのか。

回答

本市の約3万1,910ヘクタールの森林面積のうち、長期間にわたり間伐等の施業が行われていない杉などの人工林は約1万ヘクタールある。

今年度は森林環境譲与税施行の初年度であるため、適切な管理が行われていない森林のうち、約107ヘクタールに対し、意向調査等を実施する。これをモデルケースとして、適切な管理が行われていない残りの森林についても森林環境譲与税を活用しながら、今後20年かけて全て管理していく予定である。



はった いちい
八田 一以 議員
一真会

5年後の福井市について

質問

令和3年度を目標年度とする第七次福井市総合計画は、昨年、財政再建計画が策定されたことにより大きな変更を余儀なくされた。令和5年度を目標年度とする財政再建計画が最も基本の計画となり、総合計画の事業が当初の計画どおり完了することはありえない。本市の見解は。

回答

総合計画の成果としては、中央公園を再整備し、福井初の野外音楽フェスの開催等で新たな賑わいが創出されたり、健康管理センター内に母子保健の拠点として妊娠・子育てサポートセンターふくこを開設し、切れ目のない支援体制の構築に取り組むなど、平成30年度の達成状況は前年度を3.8ポイント上回る7.7%となった。住みよさランキング2019においては順位を大きく上げて全国総合第4位と躍進し、目指す将来都市像の実現に向けて一歩前進できたのではないかと捉えている。



すずき しょうじゅ
鈴木 正樹 議員
日本共産党

議員控室等での喫煙について

質問

健康増進法の改正を受けて、市役所庁舎には、市民が利用できる喫煙所がなくなり全館禁煙となったが、一部の議員は議員控室や議長・副議長室で喫煙している。

回答

議員控室等での喫煙を禁止にすべきと考えるがどうか。

健康増進法の改正の目的は、望まない受動喫煙の防止を図ることであると認識している。

議会フロアの喫煙については、法律上、議会フロアは第二種施設に該当し、市役所庁舎とは扱いが異なる上、議会運営上のことであるため、議会の中で十分に議論していただきたいと考えている。



なかむら あやな
中村 綾菜 議員
無所属

ひきこもり対策と社会への理解促進について

質問

ひきこもりは、若年層（15歳～39歳）が69.6万人、中高年層（40歳～64歳）が61.3万人と推計されている。自室から全く出られない方、就職活動しているがかなわない方など様々である。ひきこもりへの対策を、今後どのようにしていくのか。

回答

現在、県ひきこもり地域センター等と連携した支援により、本人や家族へのサポートを行っている。

ひきこもり支援は、家庭訪問や家庭内の複数の問題解決など、その家庭と深く関わりながら、時間と手間をかけて支援を行うことが重要であり、より充実した支援が行えるよう体制を整えていく必要がある。そのための体制づくりや人材育成などは、今後取り組んでいかないとけない重要な課題だと考えている。



こんどう みのる
近藤 寛 議員
無所属

ふくいオリーブ物語について

質問

市は新たな特産品としてオリーブ栽培に取り組み、本市をオリーブの一大産地に育て、2031年度には栽培面積を100ヘクタールに拡大し、売上金額200億円を目標としているが、今後どのように実現していくのか、その思いと取組内容は。

回答

オリーブの普及拡大に向けた苗木購入への支援を引き続き行うほか、栽培マニュアルの作成、搾油機導入に対する支援も実施していく。

また、土壌に合った品種を選定し、収穫時期や搾り方、ボトルデザイン等に工夫を凝らすことで付加価値を高め、ブランドの確立を目指す。

将来的には、三里浜で収穫された野菜や近海でとれる魚介類などを組み合わせる食の提供、オリーブの収穫・搾油体験、越前海岸の景観などを活かした福井ならではの観光資源として活用していきたい。

議案等の審議結果				
(5月臨時会)				
議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
第56号議案	監査委員の選任について	5月28日	同意	
第57号議案	監査委員の選任について	〃	〃	
第1号報告	専決処分の承認を求めることについて(福井市市税賦課徴収条例等の一部改正)	〃	承認	●
第2号報告	専決処分の承認を求めることについて(福井市市税賦課徴収条例の一部改正)	〃	〃	●
第3号報告	専決処分の承認を求めることについて(平成30年度福井市一般会計補正予算)	〃	〃	●
(6月定例会)				
議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
第58号議案	令和元年度福井市一般会計補正予算	7月11日	一部修正可決	●
第59号議案	福井市森林環境譲与税基金条例の制定について	〃	原案可決	
第60号議案	福井市市税賦課徴収条例の一部改正について	〃	〃	
第61号議案	福井市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃	〃	
第62号議案	福井市火災予防条例の一部改正について	〃	〃	
第63号議案	福井市体育施設条例の一部改正について	〃	〃	
第64号議案	工事請負契約の締結について(順化小学校・順化公民館複合化及び長寿命化改修工事 第2期)	〃	〃	
第4号報告	平成30年度福井市一般会計継続費の繰越しに関する報告について	6月24日	受理	
第5号報告	平成30年度福井市一般会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第6号報告	平成30年度福井市一般会計事故繰越しの繰越しに関する報告について	〃	〃	
第7号報告	平成30年度福井市宅地造成特別会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第8号報告	平成30年度福井市福井駅周辺整備特別会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第9号報告	平成30年度福井市下水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第10号報告	平成30年度福井市ガス事業会計予算の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第11号報告	平成30年度福井市水道事業会計継続費の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第12号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	〃	〃	
第13号報告	福井市土地開発公社の平成30年度決算に関する報告について	〃	〃	
第14号報告	福井市土地開発公社の令和元年度予算に関する報告について	〃	〃	
第15号報告	一般財団法人福井市漁業振興会の平成30年度決算に関する報告について	〃	〃	
第16号報告	一般財団法人福井市漁業振興会の令和元年度事業計画等に関する報告について	〃	〃	

請願・陳情等の審議結果				
(6月定例会)				
請願・陳情番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (賛否状況は下部に掲載)
請願第1号	日米貿易交渉の中止を求める意見書提出について	7月11日	不採択	●
請願第2号	日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書提出について	〃	〃	●

賛否が分かれた議案等一覧

賛 …賛成
 反 …反対
 退 …退席
 ※原則議長(堀川秀樹)は採決に加わりません。

議案番号	審議結果	一真会										志政会				市民クラブ			政友会			公明党		日本共産党		無所属									
		皆川	見谷	今村	奥島	堀江	田中	泉	八田	福野	池上	寺島	加藤	石丸	野嶋	藤田	伊藤	玉村	片矢	村田	酒井	青木	水島	榊原	岩佐	下畑	菅生	津田	鈴木	山田	堀川	中村	近藤		
5月臨時会																																			
第1号報告	承認	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第2号報告	承認	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
第3号報告	承認	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
6月定例会																																			
第58号議案	修正案	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
	修正部分を除く原案	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
請願第1号	不採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
請願第2号	不採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	

議会日誌 (平成31年4～令和元年6月)

4月9日	北信越市議会議長会評議員会 (福井市)
	// 第94回定期総会 (福井市)
5月8日	初会合
16日	各派代表者会議
6月3日	福井市北陸新幹線建設促進協議会・理事会 (福井市)
	// 総会 (福井市)
4日	全国市議会議長会役員予備選考委員会 (東京都)
10日	全国市議会議長会理事会 (東京都)
11日	全国市議会議長会定期総会 (東京都)
	// 正副会長会議 (東京都)
12日	市議会議員共済会理事会 (東京都)
17日	議員全員協議会、議会運営委員会

5月臨時会

5月28日	各派代表者会議、議員全員協議会、本会議、議会運営委員会、各常任委員会
-------	------------------------------------

6月定例会

6月24日	本会議
25日	議会運営委員会
7月1日	本会議 (一般質問)、議会運営委員会
2日	本会議 (一般質問)
3日	本会議 (一般質問)
4日	総務委員会、建設委員会
5日	教育民生委員会、経済企業委員会
9日	建設委員会、議会運営委員会
11日	議会運営委員会、本会議、観光振興・歴史文化活用対策特別委員会

編集後記

令和元年、新人議員6名を含め新しい議会がスタートしました。

議員一同、市民の皆様のご意見を少しでも市政に反映できますよう精一杯努めてまいります。

そして、今後も「ふくい市議会だより」を楽しみにご覧いただけますよう、さらに内容を充実して広報させていただきます。(泉・寺島)

福井市議会だより編集委員

委員長 泉 和弥 委員 加藤 貞信、榎原 光賀
副委員長 酒井 良樹 野嶋 祐記、寺島 恭也
津田かおり、山田 文葉

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

インターネット中継を実施しています

福井市議会では、より多くの皆さまに議会活動をご理解いただくため、**YouTube(ユーチューブ)のインターネットストリーミングサービス**を利用した録画放送の配信を行っています。傍聴に来られない人も、会議の映像をご覧いただけます。

中継する会議

- ・本会議
- ・各常任委員会
- ・各特別委員会

傍聴してみませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。

本会議

定員97人 うち車イス6席

常任委員会

総務、建設、教育民生、経済企業

議会運営委員会

特別委員会

予算、観光振興・歴史文化活用対策

議員全員協議会



お問い合わせ

議会事務局 庶務課

0776-20-5506

次回は
9月定例会
です

日程は
ホームページに
掲載します